

英語表現音読コンテストの開催趣旨

2024年度より栃山女子学園大学外国語学部において、中学生・高校生・大学生を対象とした初回「英語表現音読コンテスト」を開催します。

栃山女子学園大学外国語学部は「地球市民」の育成を目指しています。世界の多様性を理解し、平和、環境、人権、貧困などの地球規模の解決に向けて、地球に生きる一人の人間として、日々考えていく——。この理念のもと、英語表現音読コンテストを開催いたします。

本学部では、英語でメッセージを発信して、いかに説得力のある伝え方ができるか、という英語の表現能力の向上を目指しています。英語表現音読コンテストは、学習者が優れた英語のスピーチ内容を十分に理解し、解釈を深め、聴衆の心に響く表現方法を学ぶことを目的としています。また、本コンテストが参加生徒のみならず、指導者にとっても英語表現教育の場となることを期待しています。

栃山女子学園大学外国語学部 第1回英語表現音読コンテスト英語スピーチリスト

以下の6つのスピーチ・リストの中から1つ選択してください。(スピーチ動画と原稿はHPからダウンロード可)

No.1 緒方貞子 2008年 日本出身 元国連難民高等弁務官

<内容>

- Council on Foreign RelationsのGlobal Women Leaders Seriesスピーチ
- 1968年に初めて国連に来てから始まったキャリア・学問の世界から行動の世界へ転身
- 安全保障、人道支援、開発支援への転身・国連難民高等弁務官として難民を守る任務

No.2 ミシェル・オバマ (Michelle Obama) 2015年

弁護士等を経て、アメリカ史上初のアフリカ系アメリカ人のファーストレディに

<内容>

- 来日時、東京で行ったスピーチ・世界の女子教育推進
- 大人の姿勢も重要—女性を男性と同じ権利を持つ対等な存在と認めているか
- 貧しい家の娘が名門大学に入れるわけないと言わされた経験・両親の励ましもあり、職業と育児を両立して歩んできた道

No.3 キャンウェン・スー (Canwen Xu) 2016年 アメリカ在住18歳のアジア系高校生

<内容>

- TEDイベントのスピーチ・2歳の時に中国からアメリカへ移住
- 白人比率が高い州で、人種的マイノリティとして経験した葛藤
- モデルマイノリティとみなされることの多いアジア系アメリカ人・マイノリティ当事者の声を発信することの意義

No.4 カズオ・イシグロ (Kazuo Ishiguro) 2017年 日本で生まれ5歳でイギリスに移住 ノーベル文学賞受賞

<内容>

- ノーベル文学賞受賞時のスピーチ・ノーベル賞の理念は人類への貢献、平和
- 分断する壁を超えることを目指す・長崎の被爆者である91歳の母親に受賞を電話で報告

No.5 アン・ハサウェイ (Anne Hathaway) 2018年 アメリカ出身 俳優

<内容>

- Human Rights Campaign晩餐会のNational Ally for Equality受賞スピーチ・LGBTQの人々と共に立つ
- ストレートの人や白人を優位とする社会通念は誤り・真の平等に向けて共に前進する意義
- 愛が中心になった時、全てのドアが全ての人を開かれる

No.6 BTSリーダー RM 2018年 韓国出身 K-POPアーティスト

<内容>

- ニューヨークの国連本部で行ったスピーチ・ユニセフのグローバルサポートとして、世界の子どもや若者に向けて発信
- 幼少期から、アーティストとなった現在までの葛藤や気付き・ありのままの自分を愛すことが大切
- 「あなたの名前は?」「自分自身について語ろう」

審査委員

・藤岡阿由未(栃山女子学園大学外国語学部 学部長、教授)

・Michael Allen Stockwell(栃山女子学園大学外国語学部 准教授)

・児玉恵太(栃山女子学園大学外国語学部 准教授)

・堀江里香(栃山女子学園大学外国語学部 講師)



安藤優子

(栃山女子学園大学外国語学部 客員教授)

当日は安藤優子先生の特別講演会を行います。